

“ふじのくに美しく品格のある邑”から季節の情報を発信

2015
秋

むらのおと

季刊誌「むらのおと」vol.7

特集

収穫の秋。輝きます！ 邑びと宣言。

大学生体験レポート

天方（森町）

地域いきいき共生！恩地町環境みどり会（浜松市）

インタビュー

桂流コシヒカリのふる里（伊豆市）

浮島（沼津市）

邑ジャーナル

イベントカレンダー

- 中（西伊豆町）
- 久米田（清水町）
- 清水区西里（静岡市）
- 本郷（藤枝市）
- どうもんの里（掛川市・袋井市・磐田市）
- 中ノ町地区（浜松市）



ふじのくに 美しく品格のある 邑^{むら}って？

日本一高い富士山や日本一深い駿河湾など、変化に富んだ地形と清らかな水に恵まれた静岡県は、農作物や水産物の品目数において全国トップクラス。この豊かな食料を生産する県内の農山漁村には、棚田や茶畑といった美しい風景に加えて、古くから伝わる文化や伝統が息づく地域それぞれの「宝（資源）」があります。

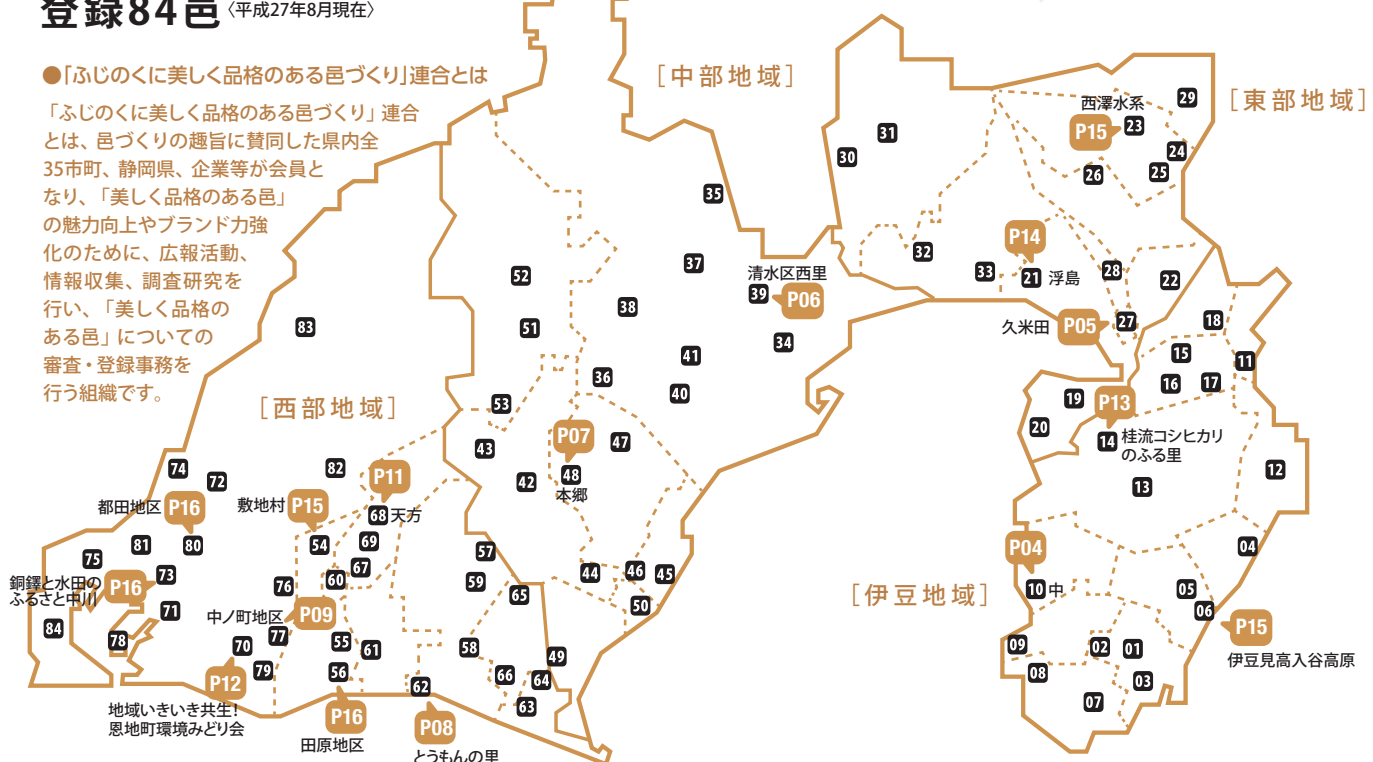
「ふじのくに美しく品格のある邑」とは、地域の宝を大切に思い、それを守り、次世代につなげていくとする人々が集まって、真摯に活動を行う理想の農山漁村として「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合が認定した地域（邑）です。平成24年度に県内35市町の45地域が認定されたのを皮切りに、毎年登録数が増え続け、平成27年8月現在で84地域が名を連ねています。

「ふじのくに美しく品格のある邑」は、深い山々に囲まれた山間地の集落から、周囲が市街地化された農園まで、その個性はさまざまです。

登録84邑〈平成27年8月現在〉

●「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合とは

「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合とは、邑づくりの趣旨に賛同した県内全35市町、静岡県、企業等が会員となり、「美しく品格のある邑」の魅力向上やブランド力強化のために、広報活動、情報収集、調査研究を行い、「美しく品格のある邑」についての審査・登録事務を行う組織です。





vol.7

2015

秋

CONTENTS

特集

収穫の秋。 輝きます！ 邑びと宣言。



白糸の里／平成棚田と彼岸花

周辺環境だけに留まらず、規模の大小、文化や歴史、特産品や名物など、84の地域にはそれぞれに特徴があり、県全域で多彩で多様な魅力を形成しています。

また、そこで活躍する人々も魅力的です。自分たちの地域を愛し、活動に誇りを持つ人たちの自信に満ちた姿は、訪れる人にとって、忘れられない「美しい思い出」となるはず。

「ふじのくに美しく品格のある邑」の詳しい情報は連合のホームページにあります。魅力的な場所、地域の特産品、参加できるイベント情報なども掲載されているので、まずは気になる邑を訪ねてみましょう。

- 10 中(西伊豆町) ——— 04
- 27 久米田(清水町) ——— 05
- 39 清水区西里(静岡市) ——— 06
- 48 本郷(藤枝市) ——— 07
- 65 とうもんの里(掛川市・袋井市・磐田市) ——— 08
- 77 中ノ町地区(浜松市) ——— 09
- 邑びとvoice ——— 10

大学生体験レポート

- 68 天方(森町) ——— 11
- 70 地域いきいき共生！
恩地町環境みどり会(浜松市) ——— 12

インタビュー

- 14 桂流コシヒカリのふる里(伊豆市) ——— 13
- 21 浮島(沼津市) ——— 14

邑ジャーナル

- 38 伊豆見高入谷高原(河津町) ——— 15
- 23 西澤水系(御殿場市)
- 29 敷地村(磐田市)
- 45 田原地区(磐田市) ——— 16
- 73 銅鐸と水田のふるさと中川(浜松市)
- 51 都田地区(浜松市)

イベントカレンダー — 17



表紙／「地域いきいき共生！恩地町環境みどり会」(浜松市南区)では遊休農地を利用して子供たちを対象とした農業体験を行っています。案山子が目印の実習農園では、今年もサツマイモの苗植え、つる上げに歓声を上げる芳川北小学校児童の元気な姿がありました。

◇西部地域

- 54 敷地村(磐田市)
- 55 とんぼの里 岩井(磐田市)
- 56 田原地区(磐田市)
- 57 茶文字の里 東山(掛川市)
- 58 高天神の里(掛川市)
- 59 東山口・西山口(掛川市)
- 60 源氏とひまわりの里(袋井市)
- 61 諸井里山の会(袋井市)
- 62 とうもんの里(掛川市・袋井市・磐田市)
- 63 カカシ祭りの里 新野(御前崎市)
- 64 朝比奈(御前崎市)
- 65 千榎(せんがまち)の棚田(菊川市)
- 66 嶺田用水の里(菊川市)
- 67 森町南部(周智郡森町)
- 68 天方(周智郡森町)
- 69 一の宮の里(森町)
- 70 地域いきいき共生！恩地町環境みどり会(浜松市)
- 71 和地ふるさと会(浜松市)
- 72 夢未来くんま(浜松市)
- 73 銅鐸と水田のふるさと中川(浜松市)
- 74 大好き渋川(浜松市)
- 75 三ヶ日みかんの里(浜松市)
- 76 中郡地区(浜松市)
- 77 中ノ町地区(浜松市)
- 78 村櫛地区(浜松市)
- 79 大塚地区(浜松市)
- 80 都田地区(浜松市)
- 81 ～竜ヶ石山～西四村の里(浜松市)
- 82 いっぶく処横川(浜松市)
- 83 そばの里づくり 佐久間(浜松市)
- 84 新所水とみどりのプロジェクト(湖西市)

◇伊豆地域

- 25 パノラマ遊花の里(裾野市)
- 27 久米田(清水町)
- 28 上長窪地区(長泉町)
- 29 所領(小山町)
- 30 柚野の里(富士宮市)
- 31 白糸の里(富士宮市)
- 32 岩本山とかりがね堤を守る邑(富士市)
- 33 富士山のふもとの郷を守る邑(富士市)

◇中部地域

- 26 原・新丹谷(静岡市)
- 35 有東木(静岡市)
- 36 清沢(静岡市)
- 37 大沢地区(静岡市)
- 38 奥藁科・大川(静岡市)
- 39 清水区西里(静岡市)
- 40 水見色(静岡市)
- 41 足久保上(静岡市)
- 42 神座鶴網(島田市)
- 43 越地(島田市)
- 44 湯日(島田市)
- 45 中の島(焼津市)
- 46 西島(焼津市)
- 47 殿(藤枝市)
- 48 本郷(藤枝市)
- 49 菅山原(牧之原市)
- 50 吉田たんぼ(吉田町)
- 51 徳山(川根本町)
- 52 池の谷・閑蔵(川根本町)
- 53 地名(川根本町)

◇伊豆地域

- 01 下大沢(下田市)
- 02 加増野(下田市)
- 03 大賀茂(下田市)
- 04 大川(東伊豆町)
- 05 上佐々野わくわくの里(河津町)
- 06 伊豆見高入谷高原(河津町)
- 07 日野 元気な
百姓達の里(南伊豆町)
- 08 伊浜地区(南伊豆町)
- 09 石部赤根田村百笑の里(松崎町)
- 10 中(西伊豆町)
- 11 日本一のだいたいの里
「多賀」(熱海市)
- 12 十足(伊東市)
- 13 伊豆月ヶ瀬梅の里(伊豆市)
- 14 桂流コシヒカリの
ふる里(伊豆市)
- 15 葦山多田(伊豆の国市)
- 16 葦山金谷(伊豆の国市)
- 17 浮橋(伊豆の国市)
- 18 丹那(函南町)

◇東部地域

- 19 寿太郎みかんのふるさと
西浦(沼津市)
- 20 戸田(沼津市)
- 21 浮島(沼津市)
- 22 三島箱根西麓地区(三島市)
- 23 西澤水系(御殿場市)
- 24 沼田ロマンチック街道(御殿場市)
- 25 二子湧水の里(御殿場市)

むらのおと

特集

収穫の秋。輝きます！ 邑びと宣言。

実りの秋。

自然の恵みがきらきら輝きます。

もちろん、人だつて！。

〳人が輝く〳ってどういうこと…？

そう、「邑びと」たちが、

そんな人の輝きを教えてくれます。



大堰組合役員の皆さん。左から須田美光さん、鈴木裕光さん、鈴木邦男さん、佐野勝國さん。「この地域に住んで素晴らしいと感じるのは、山があり川があり田んぼがあり、夕陽と夜の星空がきれいなこと」と須田さん



1. 西伊豆町南部、松崎町との境に位置する中地区。「昔は田んぼ一色だった」と80歳を数える鈴木裕光さんが語る邑では、米に代わってキンギョソウのビニールハウス栽培が行われ、かつては一大産地として栄えました
2. 仁科川から大堰への取水口。堰守2人が任命され、一年を通して管理。この清流は、水質調査でもきれいであることが証明されています
3. 用水路の泥上げや清掃に取り組む組合員。地道な作業により、邑は「命の水」で潤います



西伊豆の穀倉地帯に 新しい未来を育む命の水

花畑にホタルが舞う、
より美しい
邑を目指して

駿河湾の荒波が描き出した美しい海岸線の背後に、急峻な山が迫る西伊豆町。その南部、仁科川流域に位置する中地区は、かつては「西伊豆の穀倉地帯」と呼ばれ、約60町歩の見事な田園で米作りが行われてきました。それを支えていたのが、明治期に完成した「大堰」と呼ばれる用水路です。

ところが、高齢化と後継者不足により稲作農家が減少すると、いつしか大堰を管理する組合も解散。水路は汚れて泥がたまり、自慢の田畑は荒廃の一途をたどるばかりでした。

そんな中、「我々には、この美しい田園風景を後世に残す義務がある」という使命感に燃える有志が立ち上がり、平成24年に大堰組合を再結成したのです。組合員は、農地に引水する耕作者から生活雑排水等で

利用する地域住民まで、堰の恩恵にあずかる邑人全員。堰守が任命され、定期的に清掃を行うなど、しっかりと管理された用水路には、現在、仁科川から取り込む「命の水」が勢いよく流れています。

こうして一つ目標をクリアした大堰組合は今、遊休農地の活用という次なる課題に挑んでいます。その手始めが花畑づくり。中地区は、以前は日本一の生産量を誇るほどキンギョソウ栽培で栄えた花の町ですが、組合が借りた3枚の畑には、今年はヒマワリとマリーゴールドが可憐な花を咲かせました。

「いずれは水場をつくり、メダカやホタルが生息する環境にしたい」と組合長の鈴木邦男さん。実現は容易ではありませんが、美しい景色は人の心を動かすもの。真つ赤な夕陽が沈んだ邑にホタルが舞う姿が、近い将来きつと見られることでしょう。



キンギョソウで農林水産大臣賞を受賞した石川茂さんは、裏作でメロンも栽培。赤肉の品種は「夕陽のまち」にちなんで「夕陽メロン」と命名され、新たな名物に



4. 水田の中に咲き誇るヒマワリやコスモスは、田畑仕事の疲れを癒し、住民の心も華やかにしてくれます
5. 遊休農地を使った花畑づくり。一般組合員にもチラシを回覧して、ゴミのポイ捨て禁止や奉仕活動参加を呼びかけます
6. 農家の高齢化はなかなか解消されませんが、邑人たちはみんな気さくで元気いっぱい



邑番号

10

中

なか

賀茂郡西伊豆町中

●電車・バス／伊豆箱根鉄道 修善寺駅から東海バス「松崎」行きに乗車し「仁科車庫」下車、「宮ヶ原」行きに乗り換え「海名野」下車

●車／東名高速沼津ICまたは新東名高速長泉沼津ICから約95分

町のふれあい農園と 都市近郊型農業の新たな可能性

小さな畑から生まれる
農の喜びと元気な笑顔

国の天然記念物にも指定された名水・柿田川の湧水群を擁す清水町は、三島と沼津の都市に挟まれた小さな町。豊かな自然と清流に恵まれた平野地では、縄文時代後期から稲作が盛んに行われ、昭和30年代まで農業が産業の中心を担っていました。しかし、高度経済成長に伴い、工業が急速に発展。都市化が進む町は、住宅地が増える代わりに農地が減少していきました。

す。休耕地の有効活用と地域農業に対する理解向上を目的に、町では平成8年から柿田地区と徳倉地区で町民農園を展開していますが、久米田にも平成13年に、民営のふれあい農園がオープン。地域のシンボリックな存在になっています。

「背広でできる開かれた農園」をテーマにした「リュミエルYAMAMOTO」は、ロッカーや駐車場を完備し、サラリーマンでも仕事帰りに手ぶらで立ち寄り、気軽に農作業ができるのが魅力です。富士山を望む広大な畑地には、毎日朝早くから土



清水町が誇る柿田川湧水群は、「名水百選」などにも選出。富士山からの伏流水が一日約110万トンも湧出し、町を潤しています



久米田

くまいでん

駿東郡清水町久米田

- 電車・バス/JR三島駅から東海バス「沼津駅」行き乗車、「清水中学校」下車
- 車/東名高速沼津ICまたは新東名高速長泉沼津ICから約20分



1. 父親の後を継いで代表を務める山本祐子さん(左)と畑仕事全般をサポートするご主人の淳さん(右)。中央は利用を始めて5年目になるという日吉さん

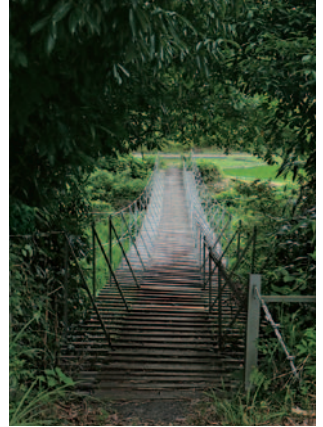


2. 町の特産品「緑米」は、縄文時代に中国から伝わったとされる古代米で、全国的にも栽培例が少ない貴重種。この米を使ったお酒やあられ菓子など、関連商品も続々登場



3. 清水町主催の農業祭では品評会も行われ、農業者以外を対象とした家庭菜園部門には、市民農園利用者が自慢の野菜を出展。一つのやりがいになるとともに、地域農業の理解にもつながっています

4. ふれあい農園「リュミエルYAMAMOTO」。86区画に分けられた畑地は1区画10坪。個人が経営する農園としては規模が大きく、町民に限らず利用できるのも特徴です。農園では利用者が自由に好きな野菜や花を栽培。農業の難しさも体験しますが、だからこそ自分で作る楽しさと作物が実った時の喜びは格別です



元気いっぱい。 古さを生かして 新しいことに挑戦し続ける！

ジェラートはレギュラー360円、スモール260円、ダブルは+100円



遊べる、楽しめる、
おいしいを満喫できる
癒しの西里

静岡市清水区の西里地区は豊かな自然にあふれ、のんびりと過ごすことができる里山として知られています。そんな同地区も高齢化に伴い、使われていない民家、畑、田んぼが増え、管理は個人では難しい状態に。そこで邑の助けになるうと精力的に活動を行っているのが、200名ものメンバーがそろったNPO法人「複合力」です。同団体は静岡市中山間地支援事業「これ一番事業」の支援を受け、「両河内連合自治会」の一部として、同地区の



comoで働く笑顔が素敵な清水千津子さんと山本五月さん。西里で採れたハーブなども店頭で並びます



1. ハックルベリーはブルーベリーのよ
うに真っ黒になった頃が収穫時。アントシアニンの量が豊富なので今後注
目が集まりそう
2. 「遊びでホップを育てています。アル
コールが1%未満じゃ酔えないけどね」
と語る複合力理事長の村上勝さん。
新しい発想と挑戦し続ける気持ち
が人々を楽しませています

活動を請け負っています。

様々な活動の中でも興味を引かれるのは、使われていない古民家を宿泊所として貸し出す「貸切り古民家安来里」。一泊大人1000円（子供500円）という価格で自由に民家を使用でき、近くでは川遊び、庭ではバーベキューも可能です。100年前の古民家の中はタイムカプセル。玄関先に杵、臼、手動精米する器、中に入れば囲炉裏をはじめ、黒電話、ラジオ、炭を入れて使うアイロンなどが無造作に置かれています。初めて見るものも多く、子供も大人も大喜びです。

複合力が立ち上げたジェラート屋さん「como」も人気です。お勧めは「ハックルベリー・ブルーベリー」。ハックルベリーは、地元の休耕田で育てたもので、ブルーベリーの3〜4倍ものアントシアニンがあるとか。濃茶マール、イデボクミルクなどのレギュラーメニューのほか、季節に合わせ、モモ、ウメ、ト



邑番号
39

清水区西里

しみずくにしざと

静岡市清水区西里

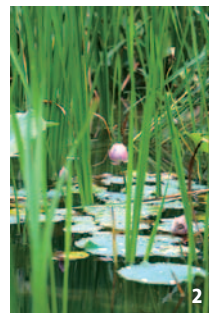
●電車・バス/JR清水駅からしずてつジャストライン「但沼車庫行き」バスに乗り、終点から自主運行バス「両河内線」に乗り換えて西里温泉下車

●車/国道52号線、但沼交差点を両河内方面へ。新東名高速清水ICより約20分



貸切り古民家安来里





1. 生きもの観察会の様子。どんな生き物がいたかな?こどもたちは興味津々!
2. 蓮の花が咲く、生きものや植物が育つのも自然の力の魅力
3. イモリがかくれんぼ。どんな生き物に会えるかはお楽しみ

1

邑を愛し自らの手で育てていく 本郷の挑戦

**新たな命を育む、
子どもも大人も
笑顔が生きる邑**

藤枝の市街地から車で約20分。山と緑に囲まれ、清流が流れるのどかな邑が本郷です。

ここでは宝である里山を守り、みんなの手で育てていこうと「本郷ふる郷普請の会」が邑づくりをしています。同会の会長・西野秋雄さん、事務局長・渡辺剛さんをはじめ、200世帯もの住民が協力し、同地区の環境整備や農地管理を行っています。

清流のすぐ側に自慢のビオトープ。地元企業の(株)エクノスワタナベと協働でつくりました。メダカが泳ぎ、蓮の花が咲くビオトープは心の休息場。駐車場にはアジサイが植えられ、歩道の整備や看板の設置などと合わせて、訪れる人が気持ちよく過ごせる心遣いがあります。そんなビオトープも草刈から始まり、土地を掘り起こし、木道を作り、水辺の草花を植えたりとゼロからのスタートでした。現在はホテルの鑑賞会やメダカの放流など、老若男女が楽しめるイベントがたくさん行われています。サワガニ、アカハライモリ、ウグイス、メジロといった生き物を間近で見られることもでき、いろいろな発見ができる宝の水辺となっています。同会は休耕田を利用したそばの栽培も試みています。白い花や赤い花が咲く様子は人々の心を和ませています。実の収穫は機械がないため、すべて地元の人の手作業。それでも「蕎麦打ち体験やそばまんじゅうなどの販売もしてみたい」という意気込みが活動の励みになっています。

毎年11月下旬には、大産業祭「せとやまるかじり」が開催され、同会も参加しています。今年も地場産品の販売やゲームなどのイベントで邑が大いに賑わうことでしょう。



6



7



6. 草刈から始まったビオトープづくり
7. 木が組みあがりが見えてきたビオトープ

4.「本郷ふる郷普請の会」会長の西野秋雄さん(左)、事務局長である渡辺剛さん(右)。他の邑へも自ら出向き、視察などもする。新しいいのちの育みと共に、精力的に本郷の良さを引き出す活動をされているお二人

5. 古木の中にはカブトムシの幼虫がいるのだとか。子供たちが遊ぶ姿を想像して色んなことに挑戦中



4



5



本郷

ほんごう

藤枝市本郷

- バス/JR藤枝駅北口から藤枝市自主運行バス「藤枝駅ゆらく線」に乗り、瀬戸谷小学校前下車
- 車/国道1号バイパス谷稲葉ICから県道32号線を北上、約15分



●せとやまるかじり/開催:11月21日(土)・22日(日) 会場:藤の瀬会館(藤枝市本郷876) 問合せ:藤の瀬会館 ☎054-639-0120

とうもんの里総合案内所。
歴史・祭事の紹介や、特産
物の展示室などがあります



昔ながらのことを 体験するのが大切

緩やかな稜線を描く小笠山。見渡す限りの田園風景。たわわに実った稲穂が織りなす田面を、澄んだ風が滑るように吹き抜けてゆく。磐田、袋井、掛川にまたがる『とうもんの里』は、のどかな日本の原風景に出逢える、とても美しい邑です。

この邑では地域住民により設立されたNPO法人『とうもんの会』が、様々な活動を行っています。農業の素晴らしさを伝える「農業体験」。食の大切さを学ぶ「食体験」。歴史を知り、自然を感じる「自然観察」。そしてそれらを支える「企画広

報」。会は4つのグループから成り、それぞれが農村文化を守り伝えようと、手を取り合い歩んできました。

体験活動には地元の子供たちだけでなく、浜松や静岡など、街中で育った子供も多く参加しています。とうもんの会員さんは言います。

「川からザリガニがいなくなったとわかるのは、ザリガニがいたと知っているからです。知っているから、調査して、水質汚染をなくそうとする。ところが今の子どもは、それを知らないんです。たとえばザリガニ獲りでも、昔ながらのことを体験させるのは、大切なことに繋がっていくと思っています」

農業体験で大根の収穫をすると、スーパーで売っている真っ直ぐな大根しか見たことない子供たちは、色んな形の大根を見て大はしゃぎするそうです。

「一つ一つ形の違う大根を指して、みんなと同じだねって言うのと、『ホントだ。これは○○君みたい、じゃあこっちは×君だ！』って、すごく嬉しそうに大根に名前を付け始めたりして。大きなことは出来ないけれど、そういう小さな感動が、活動を通して毎回生まれています」
美しい風景と残したい文化を大切に思う人たちが集う、「とうもんの里」では今日も笑顔が生まれています。

小さな感動を紡ぐ 美しい稲面に囲まれた邑



とうもんの里

とうもんのさと

掛川市山崎

- 電車・バス／JR袋井駅から秋葉バスサービス（秋葉中遠線）で七軒町バス停下車、徒歩7分
- 車／東名高速袋井ICから20分、東名高速掛川ICから25分



1. 茶摘みの農業体験の様子。大人も子供も揃って参加でき、思い出作りにも
2. 総合案内所で毎週金土日に開かれる「朝採り市」。週末は買い物客で賑います
3. 田んぼの生き物調査。街中では見かけなくなった魚やヤゴに、子供たちは大喜び

1. 国道沿いの『中ノ町フラワーロード』。季節ごとの花が植わっています
2. 邑の美観を守るため、定期的に草むしり活動などを行っています



独特の風情を醸す伊豆石の蔵。演劇や落語、ミニコンサートなどが行われています



四季折々の花々と 歴史の浪漫に出逢える

ここは江戸へも六十里、京都へも六十里、
ふりわけの所なれば
『中ノ町』といえるよし

十返舎一九の東海道中膝栗毛にもそう描かれた中ノ町地区は、まさに東海道のど真ん中に位置することからその名が付いたと言われています。浜松・磐田市民にとっては、毎年8月14日に行われる盛大な花火大会が特に有名ですが、元々は旧東海道と天竜川の交わる物流の要衝として栄えた由緒ある邑です。

明治から昭和初期にかけては天竜川上流で切り出された木材を陸揚げする河岸として繁栄を極め、20箇所を数える製材所を始め、旅館や料亭、芝居小屋や銀行が建ち並び、当時としてはハイカラな玉突き場やカフェなども軒を連ねていました。

この邑の品格ある歴史を後世に伝え、住民がより暮らしやすい地域にしようと活動しているのが『中野町を考える会』です。

東側から天竜川橋を渡り浜松に入ると、同会によって整備された公園『寄つてきつせえ中野町』が出迎えてくれます。国道沿いには、ひまわり、菜の花、コスモスなどが植え



中ノ町地区

なかのまちちく

浜松市東区中野町

- 電車 / JR天竜川駅から徒歩20分
- 車 / 東名高速浜松ICから10分、国道1号バイパス中野町IC周辺

られ、四季折々の自然の装いが、道行く人の目を惹きつけてくれます。

地区には歴史案内の看板が設置されており、それを頼りにぐらりと散歩すれば、歴史探訪の小旅行さながら。道中ひとときを引くのは、江戸で木材を運んだ帰りの廻船が、伊豆よりこの地へ運んだ石で建てられたという『伊豆石の蔵』。伊豆石は、現在の皇居、つまりかつての江戸城の石垣にも多く使われており、この邑がいかに栄えていたかを物語っています。

同会の堀内さんが、今後の目標を語ってくれました。

「これからは、若い人たちにも協力してもらえ体制を作っていき、この素晴らしい文化や歴史を残していきたいです」



渡船場の茶屋で売られていたという『はりつけ餅』を復刻させ、バザーなどで販売。あんこ餅に醤油をつけて焼く。甘じょっぱい味



3. 地区に設置された案内板。史跡などが詳しく紹介されています

4. 地元の小学生に歴史を伝える『まち体験ツアー』の様子



「県西部地区をそば産地に!!」を合言葉に 7つの邑が結集

浜 浜松市を中心とした県西部地区では、遊休農地を活用して、そばを栽培する邑が多くあります。7月末、このうちの7つの邑が結集し、そば栽培や活用を学ぶ研修会を開催しました。

長野県飯田市で行われた研修会では、同じ目標をもつ邑の人たちが、とも

に行動し、情報交換もしながら、多くのことを学ぶことができました。参加者は、この研修会で学んだ知識や情報を活かし、各地域で更なる活動に繋げていくことを誓いました。そして、合言葉は、「県西部地区をそばの産地に!!」。県西部地区のそばを活用した取組に、これからも注目です。



99清水区西里(静岡市)
村上 勝さん

退職まで、市内で会社員として働いていたという村上勝さん。NPO法人複合力の理事長を務めながら現在は自ら農作物を育て、西里の環境整備や活性化に貢献している。

**楽しみながら邑づくりを、
もっと賑やかな西里へ**

自然に恵まれた西里ですが、今後も増えると予想される休耕田や古民家の利用によって、人々が住みよく安心した邑づくりはもちろん、訪れる人たちとのコミュニケーションの場を増やしていきたいですね。試作中のアイデアはたくさんあります。今後も邑の仲間とともに西里の魅力と新境地をアピールしていきたいですね。



97久米田(駿東郡清水町)
山本 淳さん

三島市御園出身。実家も稲作をしていたが、元は印刷会社に勤務。現在は祐子夫人とともに義父の始めた市民農園「リュミエルYAMAMOTO」を運営。

**皆さんに楽しんでもらえるように、
もっと努力していきたい**

メインは畑仕事や野菜作りですが、「ふれあい農園」と謳うように、ここは周りの人との付き合いができるのも大きなポイントです。ただ、我々スタッフはあまり出しゃばらないよう距離感は保ちながら、皆さんにもっと楽しんでもらえるよう、さらに努力していきたいと思っています。



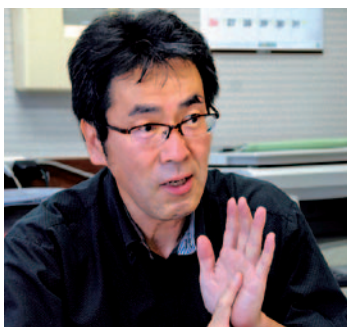
100中(賀茂郡西伊豆町)
鈴木 邦男さん

西伊豆町出身。以前は町役場に勤務。親の代から中地区で水稲栽培を行っており、現在は大堰組合の組合長として邑の未来に心を傾ける。

**将来的には学校と連携して
活動するのも夢です**

遊休耕地の活用においても、将来的には小学校等と提携して、子どもたちと一緒に花の種をまいたり、作った米を給食に使ったりできたら、素晴らしいですね。今は一般組合員の参加が少ないので大変ですが、みんなが同じ立場になり、協力し合える地域組織になることを願っています。

**郷土に対する愛情が溢れる
「美しく品格のある邑」の
キーパーソンに
今後の夢や目標を語ってもらいました**



97中ノ町地区(浜松市東区)
堀内 秀哲さん

中ノ町地区出身。この地区の歴史や文化を次世代に伝えようと尽力してきた、中野町を考える会事務局長。

**自分たちの住む邑の魅力を
もっと多くの人に知ってほしい**

以前、古い写真を集めて写真展を行うと呼びかけたら、150点近くモノクロの貴重な写真が集まりました。天竜川を帆掛け船が往来する様子や、当時の街並みを見ると「すごい町だったんだな」と誇りに思います。同じ写真が案内看板にも使われているので、ぜひ見てみてください。



98とうもんの里(掛川市・袋井市・磐田市)
名倉 光子さん

メロン農家を営む、とうもんの会理事長。とうもんの里と農業をこよなく愛し、NPO法人設立前から、村おこし活動に注力してきた。

**私たちの「宝」を
子供たちに伝えていきたい**

あるとき都会から訪ねてきた人が「こんなにきれいな景色があって、空気も美味しくて、広々してて、なんて贅沢な場所なんだろう」と言ってくれました。そのとき、この素晴らしい風景こそが自分たちの宝なんだと気付いたんです。これを次の世代に残せるよう、活動を続けていきたいです。



98本郷(藤枝市)
西野 秋雄さん

瀬戸谷出身で、本郷ふる郷普請の会の会長の西野秋雄さん。また、中山橋架替準備会の会長でもあり、瀬戸谷幼稚園の理事長も務める。

**地域のコミュニティーを
大事にした邑づくり**

農道の整備や休耕田を利用した花の種まき、河川の草刈など、地域の人たちが一丸となって行っています。大人から子どもまで一緒に協力して暮らしていく大切さや、自然や命の大切さを育て、いける環境を作っていきたいですね。今後も邑の人々が笑顔で集える邑であるように環境整備に努めたいです。

大学生 体験レポ

豊かな自然と歴史に
「おじゃまします」

かつては塩の道、秋葉街道の宿場町として栄え、現在も当時の文化や古風な町並みが残る森町。太田川と青く繁る山々に囲まれた里は遠方から訪れる方も多く、「遠州の小京都」と呼ばれ親しまれています。

森町の天方地区では、年2回、地域に暮らす人たちのライフスタイルを模擬体験しながら、里山の恵まれた自然も満喫できる「オープンハウス」というイベントが開かれます。開催中は企画参加者の自宅やお店が開放され、来訪者が自由に地元の方と触れ合えます。「ぶらっと来て、ぶらっと見て、ぶらっと寄る、ぶぶふの日」は、オープンハウスの愛称。今回、僕はそのオープンハウスを訪ねてきました！

天方の素材を用いた
「一点もの」。

「つむぎ工房吉筋」

つむぎ工房吉筋の吉筋きよさんは手織りの絹織物を販売して

静岡大学理学部
生物科学科4年
山本達郎さん



周智郡森町
●電車・バス／天竜浜名湖鉄道
遠州森駅→(町営バス/予約制)
●車／新東名高速森掛川ICから
約10分、東名高速袋井ICから約
30分

周智郡森町天方の カワセミ街道 オープンハウス訪問！



人気のあるおろしそば。手打ちならではのコンと弾力がありました



➡手織り歴17年。つむぎ工房吉筋 吉筋きよさん

◀ぶぶふの日参加店のひとつ「ほっとり」で、そば打ち体験をさせてもらいました。そば打ち体験では、平らに伸ばす前の生地を350回こねつけます。身体全体を使った体験のあとに食べたそばは格別の美味しさでした

◀天方の町並みを流れる太田川



ぶぶふの日イベント発起人の安間紀雄さん

百姓人では、トウモロコシや旬の野菜も販売しています

います。糸の染色には地元で採れる植物を使用。淡くやさしい色の糸は「丁寧に織られ、スカーフや着物などに形を変えていきます。」「試行錯誤を重ねた末の織物を見て欲しい」と、きよさんはおっしゃっていました。

邑の魅力は県も越えて
伝わる。「軒家「百姓人」

次に僕が訪れたのは、県道沿いに建つ「軒家「百姓人」」です。元々は、築百年以上の歴史ある古民家。現在は8年前に東京から移住してきた早川さん夫妻が暮らし、自家焙煎にこだわった珈琲で訪れた人をもてなしてくれます。「歴史と豊かな自然が感じられる町並みや他所からきた私たちを支え、声をかけ続けてくれた地元の方々の優しさが天方に住み続ける理由」なのだそう。

また行きたい！
素朴な町並みの中に
魅力溢れる天方

気軽にオープンハウスに立ち寄れる「ぶぶふの日」は今年11月の開催で第6回を迎えます。今回訪れた天方の土地と人が融合したライフスタイルは、「こんな暮らしもいいな」と思わずにはいられないほど魅力的でした。

(編集協力/静岡時代)

恩地町で小学生と サツマイモ 栽培体験！

浜松駅からすぐ
原風景を再生した邑

恩地町はもとも農家が共同
作業で田植えや脱穀を行う田園
風景が広がる邑でした。しかし
経済発展や工業化に伴い、農業
から離れる人が増加。農村環境
をよくしたいという思いから、非
農家が中心の恩地町環境みどり
会は地域住民と約5か月かけて
土地を再生させました。

遊休農地で
地元の小学生が
サツマイモづくり

恩地町では遊休農地や遊休畑
を活用して、子供、地域住民、営
農者それぞれがジャガイモやサ
ツマイモ、そば等を栽培していま
す。特に幼稚園児や小学生、高
校生を対象に行う野菜栽培実習
は食育・里育として学校側から
も好評です。芳川北小学校では
7年間継続して実施され、毎年



静岡県立大学4年
食品栄養科学部
小池麻友さん



地域いきいき共生！
恩地町環境みどり会

ちいきいきききょうせい！
おんちちようかんききょうみどりかい

浜松市南区恩地町

- 電車・バス／JR浜松駅→遠鉄バス遠州
浜崎線→芳川西バス下車徒歩5分
- 車／東名高速浜松ICから約15分、国
道1号バイパス大柳交差点から3分

小学二年生がジャガイモの収穫
やサツマイモの苗植え、つる上
げ、収穫を行っています。小学
生たちは約1か月前に苗植えし
た自分のサツマイモの成長ぶり
に「こんなに大きくなるの!」と
大はしゃぎ。ちなみに収穫した
サツマイモは煮かし芋にして食
べたり、家に持ち帰ったり、学
校の給食(全校生徒分)としても
大活躍です。

かつては、放置されたビニール
ハウスを覆うほど草木が生い
茂っていた土地から、食育の輪
が広がっていました。



一人5株
育てています!

かつての荒れた耕作
放棄地を再生。手作
りの案山子が目印



↑暑い季節にも関わらず、畑を元気に走り
回る芳川北小学校2
年生。養分がサツマ
イモに行き届くよう
に「つる上げ」を丁寧
に行います

➡年4回、芳川堤防の草刈りや菜の花の種
まきを行い、恩地町の春を彩ります。がれき
除去や除草、耕耘整備などの遊休農地保全
のほか、ひまわりやコスモス、菜の花など景観
花の植栽も行います。春と秋は公会堂前の沿
道60mが花いっぱいになり、彩りも綺麗



恩地町みどり朝
市は毎月第三日
曜日9:00~!



売り切れ御免！
恩地町のみどり朝市

毎月第3日曜日には地域の農
産物を直売する「みどり朝市」を
開催。今秋で七年目を迎え、開催
回数も80回を超えます。約30分
で売り切れてしまうほどの人気
ぶり。この「みどり朝市」には幼
稚園児が百円を手に買い物勉強
に来ることもあるそうです。世代
をこえた町民の交流に温かみを
感じます。

「恩地町はすごい」
他町が羨む邑のヒミツ

遊休農地や農用施設の保全、
食育など一人では手の届かないと
ころを地域でカバーする取り組
みは容易ではありません。恩地
町環境みどり会の見野閣一朗さ
んは、「自助・互助・公助を上手
く合わせて本来あるべき姿を復
元している」とおっしゃいます。
実際に浜松市やJ.A.の、景観花
や遊休畑用の肥料の支給や、水
路改良のための補助金制度を活
用し、取組みを広く展開。活動開
始から9年、突出した特産物の
ない邑でも輝き続けるヒミツ、そ
れは世代や立場をこえた共同活
動における絆にあります。

(編集協力/静岡時代)

interview

「美しく品格のある邑」に魅せられた人びとに、そこでの活動や魅力について聞いてみました。

807年に弘法大師が開湯したと伝えられる歴史深い修善寺温泉。情緒漂う湯の街の各旅館では、9月初旬になると門口にいつせいに稲穂が飾られ、約3か月間、地元ブランド米「桂流コシヒカリ」が宿泊客に振る舞われます。

「お客様にもおもしろいと喜ばれ、贈り物に使う方もいますよ」と語るのは修善寺温泉旅館組合理事長で老舗宿の主人でもある浅羽一秀さん。そんな米を栽培しているのが、温泉街から桂川の3kmほど上流にある桂谷地区。中山間地特有の段々に広がる田園と自然に抱かれた長閑な集落には、日本人の郷愁を誘う美しい里山の原風景が今なお残っています。

桂谷と温泉場は表裏一体。総合産業としての観光農業を目指します！

◆農事組合法人グリーンファーム桂谷
◆修善寺温泉旅館協同組合



桂流コシヒカリは、平成25年の「お米日本一コンテストinしずおか」で金賞を獲得。桂川の清流と中山間地の寒暖差ある気候が、おいしい米を育みます



邑番号 14

桂流コシヒカリのふる里

けいりゅうこしひかりのふるさと

伊豆市修善寺

- 電車・バス／伊豆箱根鉄道 修善寺駅から伊豆箱根バスまたは東海バス「修善寺温泉場」行きに乗りし「修善寺温泉」下車、徒歩約20分
- 車／東名高速沼津ICまたは新東名高速長泉沼津ICから約40分

るまでに成長しました。自慢の米は今、連携体制をとる旅館組合の各宿で提供されています。地元旅館で使われることで桂谷の生産者は潤い、田んぼの保水機能によつて下流の温泉と街が守られる。両者の絆の背景にあるのは、そんな相互扶助の思い。まさに、「桂谷と温泉場は表裏一体」なのです。

「私たちが目指すのは、総合産業としての観光農業」と北又中山間事業委員会の杉原由樹さんは語ります。それはグリーンツーリズムとは一味違う、旅館との協同の上に成り立つ自然や農業体験。彼らの取り組みは、中山間地農業の新たなビジネスモデルになりそうな予感がします。



1. 修善寺温泉旅館協同組合理事長の浅羽一秀さん。自身が経営する名旅館「あさば」では、桂流コシヒカリを部屋ごとに釜でガス炊きし、提供しているそう
2. 桂川の上流、北又・湯舟・間宮地区を中心に広がる「桂流コシヒカリのふる里」。どこか懐かしい田園風景の中には、弘法大師の四国巡礼にならった桂谷八十八カ所の札所や、修善寺奥の院など歴史資産も点在
3. 農事組合法人グリーンファーム桂谷の皆さん。彼らが統一した品種から無農薬の苗作りまでを一括して行い、肥培管理も徹底指導することで、安心安全な特別栽培米ができあがります





1. 一社一村しずおか運動で連携を深める浮島地区の人たちとNEXCO中日本の社員。背景のテントは同社が同地区に寄贈したもの
2. 稲刈りの後、持ち寄った具材を自由によびあわせて「浮島おにぎり」を作る。米づくり体験のご褒美だ



米作りプロジェクトで稲刈りをする榎野誠さん(手前)と大寺功晃さん(榎野さんの奥)



カヤを刈り、大きく束ねた後で焼却する。一部は茶畑の土壌改良に利用される

浮島の人たちと 二人三脚で 汗を流しています

◇NEXCO中日本(中日本高速道路株式会社)
東京支社 富士保全・サービスセンター



沼津市浮島

●電車・バス/JR原駅より
循環バス「ミューバス」に乗
車し「平沼中」で下車、東周
り・西回りのいずれでも15~
20分程度(本数が少ないた
めご注意ください)
●車/東名高速沼津ICから
県道83号線、国道1号を経
て約30分

広大な水田が広がる沼津市浮島地区は、アシやヨシなどの湿地性植物が堆積した土壌を持つ、多様な生物の宝庫です。そんな豊かな環境を守るため、同地区では「浮島地区環境保全推進会」を組織し、自然保護、地域交流、子どもの環境教育などを行っています。

同会の活動を支えているのは「NEXCO中日本」です。同社は新東名高速道路の開通前から浮島地区と二人三脚で、さまざまなプロジェクトを企画・実行してきました。

同社が継続的に取り組んでいるのは、地域に自生するカヤの刈り取りです。毎年11月に社員が地域住民とともにカヤを払い、一部は焼却し、一部は山間部にある茶畑の土壌改良に利用します。

高さは2mを超えるカヤを扱うのは重労働ですが、同社の大寺功晃さんは「それだけに達成感があります」と語っています。

昨年は耕作放棄地を利用して米作りにも挑戦しました。地域の子どもたちを巻き込んで、田植えから収穫まで体験することで、地域との強い一体感が生まれました。同社の榎野誠さんは「最初はイネとヒエの違いも分からず迷惑をかけましたが、自

分て育てたお米の味は格別でした」と体験談を語ります。

今年3月には清掃活動を兼ねて野草の調査を行い、摘み取った野草を地域の人たちと天ぷらにして食べたといいます。4月からは地域に湧き出る湧水を活かす公園づくりのプロジェクトも始まりました。大寺さんと榎野さんは「作業の後は清々しい気分になります。そんな感動を後輩にも感じてほしい」と語り、継続的に浮島の保全活動に取り組む姿勢を見せています。



休耕田にひまわりを咲かせる「浮島ひまわりらんど」プロジェクト。後列左端が大寺功晃さん、後列右から3人目が榎野誠さん



邑番号
06

伊豆見高 入谷高原

いずみたかいりやこうげん

賀茂郡河津町見高

- 電車／JR伊東駅→（伊豆急行線下田行）→今井浜海岸駅（約60分）
- 車／東名高速沼津ICから約85分、新東名高速沼津長泉ICから約80分

良質な源泉、豊かな緑…… 隠れた温泉郷、あります。

河津町の東端に位置する伊豆見高入谷高原は、良質な源泉湧き出る隠れた温泉郷として親しまれてきた地区です。伊豆見高入谷高原温泉の宿泊施設は、緑に恵まれた高原の風景を楽しみながら、ゆっくりと入浴・宿泊できるのが人気の秘密です。毎年11月23日には同施設で「紅葉ふれあいまつり」も開催され、伊豆見高入谷高原の自然と地場産品の魅力を満喫できる場として、多くの人が訪れています。地元の方々とふれあいながら、素朴でどこか懐かしい空気をあじわえます。



邑番号
23

西澤水系

にしざわすいけい

御殿場市仁杉

- 電車・バス／JR御殿場線→富士急バス河口湖駅行または富士学校行→仁杉バス停下車（約10分）仁杉交差点を北進、500mほど進んだ右手一帯（徒歩5分ほど）
- 車／東名高速御殿場IC→国道138号線山中湖方面「仁杉交差点」右折、500mほど進んだ右手一帯に田園風景が広がります

メイド・イン・富士山 ごてんばこしひかり

田園風景と富士山の情景が望める西澤水系は、ごてんばこしひかりの産地です。富士山の伏流水で育てられ、栄養価が高いお米は「お米日本一コンテストinしずおか」で県知事賞を受賞するなど高く評価されています。その稲穂が揺れる風景とお米の味と一緒に楽しめる、あぜみちウォーキングも定期的で開催され、黄金色が広がる田園、白化粧を施した富士山など、四季折々の景色を堪能できます。



邑番号
54

敷地村

しきじむら

磐田市敷地

- 電車／天竜浜名湖鉄道敷地駅下車
- 車／東名高速磐田ICから約20分、新東名高速森掛川ICから約20分

秋は「ころ柿」が輝く季節 あま〜い敷地村の逸品

敷地村は水稻栽培などの農用地と森林の調和が美しい地域です。地域自慢の逸品である「ころ柿」は、山から吹く冷たい風に煽られ、濃厚な甘さが味わえると評判。家々の軒下に並んで干される光景は邑の風物詩としても愛されています。その可愛い名は、柿全体にまんべんなく太陽が当たるように、位置をコロコロ変えたことから命名されました。また、一般の干柿とは異なり、半熟のような仕上げ方をするのは敷地村独自の製法。敷地村が誇る逸品の伝統を感じることができます。





小学生から大人まで 「水車の里」誕生秘話

磐田市田原地区には今ではみることも少なくなった水車の里があります。「地域の自慢をつくりたい」という地元の小学生の言葉が発端になり、2004年から計5基が製作されました。しかし、2011年の台風で水車全基が損傷。そのとき復元に立ち上がったのが、有志で集まった地域の方々でした。3年かけて全基を修復し、今年1月には直径約2mの水車を新しく作り変えました。里の傍らの桶ヶ谷川の水をくみ上げ続ける水車の背景には、地域を大切に想う方々の歴史が流れています。



田原地区

たはらちく

磐田市三ヶ野

●電車・バス／JR磐田駅
→(遠鉄バス 見付磐田営業所行)→磐田営業所下車徒歩25分

●車／東名高速袋井IC
から約20分、東名高速磐田ICから約20分



ちょっと贅沢な課外授業？ 美しい原風景の「いきもの調査」

美しい水田が広がる中川地区は、弥生時代の銅鐸も数多く出土した歴史と品位ある水田地帯です。地域の方々の手により自然環境や生態系の保全が行われ、一角にはビオトープもつくられました。2008年からは地元の小学生が参加する「いきもの調査」がはじまり、毎年メダカやコイといった多様な生物を見つけては、水田一帯に歓声が上がります。自分たちの暮らす地域の自然がどのように守られ支えられているのか。自然と人の共生を学ぶ場として今も活かされています。



銅鐸と水田の ふるさと中川

どうたくすいでんのふるさとながわ

浜松市北区細江町中川

●電車／天竜浜名湖鉄道
気賀高校駅下車

●車／東名高速浜松西IC
から約20分、新東名高速
浜松浜北ICから約35分



古来の生活文化が色濃く残る 都田地区の邑づくり

新東名高速道路の開通を機にアクセスが向上し、人の往来が盛んになった都田地区。NEXCO中日本と「一社一村しずおか運動」に取り組み、みかんの摘果やヒガンバナの植栽など地域資源を活用しながら、遠方から訪れた人々と交流を行っています。もともと都田地区は農家人口が多く、古くから地産地消をはじめ、周囲との情報交換など地域の繋がりを大切にしてきた地域。長く培われてきた優しさは、都田を訪れる人を温かく迎え、活動を共にする姿にも見ることができます。



都田地区

みやこたちく

浜松市北区都田町

●電車・バス／天竜浜名湖
鉄道都田駅・フルーツパーク
駅下車

遠州鉄道バス浜松駅から
都田行き、もしくはフルーツ
パーク行き(所要時間約
50分)

●車／新東名高速浜松ス
マートインター

9月下旬 西部

そばの花が見頃。手打ちそば・地元特産物の販売
そばの花鑑賞会

▲NPO法人がんばらまいか佐久間そば工場
浜松市天竜区佐久間町浦川2387-1 ※駐車場あり
☎NPO法人がんばらまいか佐久間 ☎053-965-1100



9/10~11/30

ほど木から採って七輪で焼いていただく
しいたけ狩り

▲てんでんゴーしぶ川 西部
浜松市北区引佐町渋川237-1 ※予約制 ※駐車場あり
☎てんでんゴーしぶ川 ☎053-545-0452



10月初旬 西部

コスモスとそばの花が見頃
コスモスとそばの花の華麗な競演

▲浜松市東区中ノ町地区
国1バイパス中野町IC北西約500m ※駐車場あり
☎中ノ町環境保全会 ☎053-421-3392



9/5

千框の棚田での草刈り作業
棚田の草刈り

▲上倉沢千框の棚田 菊川市倉沢1121-1
☎NPO法人 せんがまち棚田倶楽部(堀) ☎090-3251-1390
URL www.tanada1504.net



10/4

地名の平のかかしまつりとパラグライダーの競演
地名の平のかかしまつりとパラグライダー

▲川根本町西地名地区内 ※駐車場少ない
☎地名地区 ☎0547-56-1307(代表 椎野)



9/19

お月様の下でのコンサート
お月見コンサート

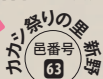
▲上倉沢千框の棚田 菊川市倉沢1121-1
☎NPO法人 せんがまち棚田倶楽部(堀) ☎090-3251-1390
URL www.tanada1504.net



10/5~16

新野川沿いにユニークなカシを展示
第15回新野カシ祭り

▲新野公民館西側新野川沿い
御前崎市新野789-1付近 ※新野公民館駐車場利用
☎新野公民館 ☎0537-86-2024



10/10

田んぼの稲刈り作業
稲刈り(オーナーのみ)

▲上倉沢千框の棚田 菊川市倉沢1121-1
☎NPO法人 せんがまち棚田倶楽部(堀) ☎090-3251-1390
URL www.tanada1504.net



10/10~12、17~18、24~25

満開のコスモスと地元農産物の販売
コスモスイベント

▲藤枝市岡部町殿・殿公会堂付近
藤枝市岡部町殿524付近
☎岡部総合案内所 ☎054-667-6060



10/11

県指定無形民俗文化財「徳山神楽」を奉納
徳山神楽

▲徳山神社 川根本町徳山地区内 ※駐車場少ない
☎徳山地区事務所 ☎0547-57-2843



10/18

神輿のお渡り
神座地区 大井神社祭典

▲島田市神座の大井神社 ※駐車場あり
☎斎藤勝雄 ☎090-2134-3327



10月中旬 西部

秋桜が見頃
秋桜の見頃

▲嶺田地区内 菊川市嶺田
☎嶺田用水の里 ☎0537-73-3460(代表 鈴木義司)



9/27~11/8

ユニークな「かかし」が田んぼに並ぶ
地名の平のかかしまつり

▲川根本町西地名地区内 ※駐車場少ない
☎地名地区 ☎0547-56-1307(代表 椎野)



9月中旬~下旬 西部

皆で植えた彼岸花が見頃
田んぼの畔を赤く彩る彼岸花

▲浜松市北区都田町白きつね親水広場周辺
天浜線都田駅東約500m ※駐車場あり(白きつね親水広場)
☎水と緑北都の会 ☎053-428-4795(事務局 波多野)



Event Calendar

県のイベントカレンダー

*
2015
autumn
*

9月 September

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

10月 October

			1	2	3	
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月 November

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

あなたのご意見をお聞かせください

〒420-8601
静岡県静岡市葵区追手町9番6号
静岡県交通基盤部農地局農地保全課
FAX 054-221-2809
E-mail: nouchihozen@pref.shizuoka.lg.jp

※ご意見とともに、住所・氏名・電話番号・年齢
をご記載ください。
※頂いたご意見は次号以降に掲載させていただきます。
※個人情報、連絡のため以外には使用いたしません。

11/29日 東部

「かわほり漁」や水路の生息体の観察等
きやーぼり大会

浮島地区内わんど

沼津市平沼375-1浮島地区センター付近 ※駐車場あり
浮島地区環境保全推進会 ☎055-966-5495(鈴木)

浮島
邑番号
21

11/8日 東部

信長公の供養にあわせ火縄銃の演武など様々な催し
信長公黄葉まつり

西山本門寺 富士宮市西山671

岡芝川商工会 ☎0544-65-0273

柚野の里
邑番号
30

10月中旬 西部

そばの花満開
そばの花満開

遠鉄西ヶ崎駅東側他

遠鉄西ヶ崎駅東側他 ※橋爪新田公会堂駐車場利用
岡けっこい中部 ☎053-434-1877(代表 村木)

中部地区
邑番号
76

11/29日 西部

自然と歴史と食を楽しむ
渋川めぐり

てんでんゴーしぶ川ほか渋川地内

浜松市北区引佐町渋川237-1

てんでんゴーしぶ川 ☎053-545-0452

大好き河川
邑番号
74

11/14日・15日 伊豆

間伐材竹材を利用し、約4000本の灯籠で江川邸の
竹林、庭、池のライトアップ

竹灯籠まつり

江川邸 伊豆の国市菰山菰山1番地

岡伊豆の国市観光課 ☎055-948-1480

菰山多田
邑番号
13

10/24日・25日 雨天の場合は
10/31・11/1に延期

遅咲きのひまわりやコスモス畑の中でのイベント開催

源氏の里ひまわり祭り

袋井市友永地内

岡源氏とひまわりの里(代表 袴田)

☎0538-48-8691

源氏とひまわりの里
邑番号
60

11月下旬 東部

農産物の直売及び各種イベント

JA三島函南農業祭(畜産祭)

三島市立長伏公園

三島市長伏274-3 ※駐車場あり

岡三島市農政課 ☎055-983-2652

三島根西麓地区
邑番号
22

11/15日 湯田

地場産品の販売

ふれあい祭

しろやま公園 島田市湯田3801 ※駐車場あり

岡初倉西部ふれあいセンター ☎0547-38-6868

湯田
邑番号
44

10/31日 東部

無病息災と豊年を祈願し湯立神楽の舞を奉納

県指定民族無形文化財 湯立神楽

沼田子之神社

御殿場市沼田238 ※雨天中止

岡御殿場市観光協会(担当 湯立神楽保存会長)

☎0550-83-4770

沼田子之神社
邑番号
24

11月下旬 東部

町内産農産物の即売及び品評会
第42回清水町農業祭

清水町役場駐車場 駿東郡清水町堂庭210-1

岡清水町農業祭運営委員会事務局(清水町地域振興課)
☎055-981-8239

清水町
邑番号
27

11/15日 西部

しいたけの網焼きやしいたけ汁が美味しい
秋のしいたけ祭り

いっぶく処横川

浜松市天竜区横川33085 ※駐車場あり

岡横川生産物直売所利用組合

☎053-924-0129(小沢)

いっぶく処横川
邑番号
32

10月下旬 西部

コスモスの花が見頃

満開のコスモス

直売所「ひまわりファーム」周辺

浜松市西区村楠町5127-3 ※駐車場あり

岡NPO法人むらちやネット ☎053-488-0800

村楠地区
邑番号
78

11月下旬 西部

川沿いの散歩道で紅葉が見頃

小國神社紅葉見頃

小國神社 周智郡森町一宮3956-1

※駐車場あり ※シャトルバスあり

岡小國神社 ☎0538-89-7302

一の宮の里
邑番号
69

11/22日・23日 西部

手作りの工芸品が並ぶ

森町クラフトフェア2015

アクティ森

周智郡森町問詰1115-1 ※駐車場あり

岡アクティ森 ☎0538-85-0115

天方
邑番号
68

10月~12月 西部

皇室献上の治郎柿の収穫時期

治郎柿の収穫時期

森町内の各直売所

周智郡森町 岡森町役場産業課 ☎0538-85-6315

森町南部
邑番号
67

毎月第3日 9:00~9:30 西部

地元の農産物販売

恩地町みどり朝市

恩地町公会堂広場

浜松市南区恩地町443 ※駐車場あり

岡地域いきいき共生!恩地町環境みどり会

☎053-426-2888(代表 見野)

地域いきいき共生!
恩地町環境みどり会
邑番号
70

11/23日 西部

棚田めぐりと竹筒ごはんとしめ縄づくり
大栗安栗田ウォーク

大栗安栗岩館

浜松市天竜区大栗安216-2 ※駐車場あり

岡NPO法人 夢未来くんま

☎053-929-0636

夢未来くんま
邑番号
72

11月初旬 西部

遊休地を活用したそばの収穫

そばの収穫

遠鉄西ヶ崎駅東側 他

浜松市中郡町 ※橋爪新田公会堂駐車場利用

岡けっこい中部 ☎053-434-1877(代表 村木)

中部地区
邑番号
76

通年 西部

金色に輝く棚田の稲穂と遠く灘のコントラスト

竜ヶ石山ハイキングコース

竜ヶ岩洞付近

浜松市北区引佐町畑193付近

※オープンデッキ・トイレ・駐車場あり

岡竜ヶ岩洞(小野寺) ☎053-543-0108

竜ヶ石山~西田村の
間
邑番号
31

11/23日 小雨決行
10:00~14:00 伊豆

農産物等販売・もちつき猪鍋無料サービス他

伊豆見高入谷高原温泉

紅葉ふれあい祭り

伊豆見高入谷高原温泉

河津町見高2064-13

岡伊豆見高入谷高原温泉 ☎0558-32-3556

伊豆見高入谷高原
温泉
邑番号
06

11/3日 中部

吉田たんぼで収穫された新米やレタス等の地場産品を販売

第29回小山城まつり

小山城前広場・能満寺山公園

吉田町片岡2519-1

岡吉田町観光協会(役場 産業課)

☎0548-33-2122(当日 ☎0548-32-9285)

※無料シャトルバス(役場発着)、小山城入場無料、

お茶会、物産展、フリーマーケット 他

吉田たんぼ
邑番号
50

12/6日 伊豆

地元産そば粉を使用した手打ちそばの販売等
浮橋そばの里まつり

浮橋公民館 伊豆の国市浮橋900-5

岡伊豆の国市商工会 大仁支所 ☎0558-76-3060

浮橋
邑番号
17

11/28日 東部

富士山信仰の始まりの場として有名な遺跡で
縄文時代の体験コーナー、出店等

柚野の里まつり

富士山縄文の里大鹿館

富士宮市大鹿窪1556

岡富士宮市観光課 ☎0544-22-1155

柚野の里
邑番号
30

11/7日 東部

山北印三島甘藷の販売等

三島甘藷祭り

JA三島函南佐野支店

三島市佐野160-1 ※駐車場あり

岡三島市農政課 ☎055-983-2652

三島根西麓地区
邑番号
22

~12/21日 西部

平成27年に獅子ヶ鼻トレッキングコース及び
周辺で撮影された写真を募集

第3回獅子ヶ鼻トレッキングフォトコンテスト

獅子ヶ鼻トレッキングコース及びその周辺

岡磐田市農林水産課 ☎0538-37-4813

磐田市観光協会 ☎0538-33-1222

※「獅子ヶ鼻 フォトコン」で検索

磐田市
邑番号
59

11/28日・29日 西部

人・自然の暮らしを味わう里山めぐり

オープンハウス ぷぶふの日

天方・三倉地区

岡森町ツーリズム研究会 ☎0538-85-6315

天方
邑番号
68

11/8日 中部

水見色の美しい自然の中を駆け抜ける

第1回水見色トレラン ※申し込みは10/12まで

高山・市民の森

岡水見色トレラン実行委員会 ☎054-293-9333

URL <http://mizumihiro-trail.jimdo.com/>

水見色
邑番号
40



季刊誌「ふじのくに」

vol.7

2015

秋



2015年9月1日発行
●発行／「ふじのくに」美しく品格のある邑づくり連合 〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
静岡県交通基盤部農地局農地保全課 ☎ 054-221-2714 FAX054-221-2809



ギャラリー ＊
02



「浜松市東区中ノ町地区」島崎 昭

歴史と誇り。

美しい花を咲かせる

住民の心意気。

天 竜川と県道261号（旧国道1号）が交わる天竜川橋。その西に位置する浜松市東区の中ノ町地区は、昭和初期まで材木で栄え、交通の要衝でした。

往時は軽便鉄道が行き交い、旅館、料亭、芝居小屋も軒を連ねていたといえます。近年は交通網の発達により、街並みにかつての面影はなくなりましたが、代わってコスモスの花が地域に咲き誇り、道行く人たちの目を楽しませていきます。

コスモスが秋風に揺れる場所は遊休農地。かつての活気を取り戻そうと地元の人たちが種をまいたのが始まりです。時代は変わっても、町を訪れる人を歓待する心意気は今も健在です。

『コスモス畑』

中ノ町地区のコスモス畑は、農家の高齢化や担い手不足などにより、地域の遊休農地が増えていることを心配した邑人が約5年前から始めたプロジェクトです。花の見頃は例年9月下旬から10月末頃まで。最近はそばや菜の花の栽培も始め、そばつくりや菜種油つくりで邑の活性化を進めています。



平成27年11月末日までに御意見をいただいた方の中から抽選で1名の方に**邑の特産品（2000円相当）**をプレゼントいたします。なお、当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。応募先など詳しくはP17をご参照ください。



ふじのくに

美しく品格のある邑
Charming and Graceful Villages in "FUJINOKUNI"

「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合
邑の詳しい情報



オフィシャルウェブサイト
<http://www.fujinokuni-mura.net>

美しく品格のある邑 検索



facebook

ふじのくに美しく品格のある邑づくり
情報発信チーム『邑ドキッ!』

無料